



転落防止・スムーズな乗降補助が目的のスロープが！

一步間違えば危険な新型スロープ!?

会社は6月より、新幹線に新型車両（N700S）を導入したことを踏まえ、乗客が車いすで乗降する際にホームと車両の隙間を塞ぐための新型スロープを、新幹線各駅において導入しました。

しかし、この新型スロープは、ホームからスロープに移る角度が、これまでのフラット状態より急角度となっています。車いすが乗車時に前のめりになり、転倒する可能性があります。

私たちは、関係箇所に「角度がフラットになるよう改良」するよう要請・要求していますが、会社は何ら検討することなく、9月より新幹線全駅において使用を開始するよう指示しています。不具合が生じていることを把握しながら、使用に踏み切ることが、乗降時にホームと車両の隙間の大きい箇所を車いすや歩行器等で乗降される際に、安全・安心・快適といった謳い文句が、新型スロープを利用される方には適用できなくても良いといった、会社の傲慢な考え方の表れではないでしょうか。

私たちは、今後も新型スロープの改良や、車いすスペースの増配置等、健常者も障害者も安心してご利用頂ける車両の提供を求める運動を進めていきます。



新・旧スロープ角度の比較

